

2024 年 U19 日本代表選手選考方針

2024 年 U19 日本代表選手選考については、以下に示す選考プロセスを経て決定します。

なお、今後、世界ローイング連盟による新たな情報、世界情勢の変動等日本ローイング協会がコントロールできない事由が生じた場合には、必要かつ合理的な範囲で変更することがあります。

1. 選考方針

(1) 目標

各種目とも、U19ローイング世界選手権においては参加クルーの50%以上の順位の獲得を、アジアローイングジュニア選手権においてはメダル獲得を目指します。

(2) 派遣対象レース・種目

U19 ローイング世界選手権ならびにアジアローイングジュニア選手権を派遣対象レースとし、男女ともシングルスカル、ダブルスカル、クォドルプルを派遣の対象種目とします。

(3) 参加資格

2024 年 12 月 31 日時点で 19 歳未満である選手（2006 年 1 月 1 日以降に出生した選手）

(4) クルー編成

クルーの編成は、U19 ナショナルチーム選考レース(U19 Small Boat Selection、以下「U19 SBS」)における順位が重要な判断要素となります。但し、その後の合宿においても、最速のクルーを作るためにシングルスカル、ダブルスカル、クォドルプルのいずれかのレースで評価を行い、再編する可能性があります。

(5) 評価

評価指標としては競漕条件（風、波、流れ等）を考慮した上で%IDT（Ideal Time）を使用し、各種目における目標を達成できるレベルにあると強化委員会が判断した場合に、大会へ派遣します。

(6) 派遣種目および日本代表選手の最終決定

派遣種目及び日本代表選手は、強化委員会の提言を受け、選考委員会の審査を経た上で、理事会が決定します。

2. 2024 年 U19 ローイング世界選手権日本代表選手選考プロセス

2024 年 U19 ローイング世界選手権日本代表選手選考のステップは以下の流れとなります。

- (1) 2023 年 11 月及び 2024 年 2 月のどちらか一方の通信制 20 分エルゴの記録提出
- (2) 2024 年 4 月 25 日（木）～4 月 27 日（土）実施の U19 SBS（戸田）
- (3) 2023 年 4 月以降、クルー決定評価レース

3. 20分エルゴ（高体連ボート専門部通信制エルゴ）記録提出（上記2.(1)）

2023年9月5日付 JARA2023-195号「2023年度高体連ボート専門部通信制エルゴ大会要項」

([https://www.jara.or.jp/kyoka/current/\(2023-195\)2023U19-20min.ErgoBulletin\(0905\).pdf](https://www.jara.or.jp/kyoka/current/(2023-195)2023U19-20min.ErgoBulletin(0905).pdf))にて発表されている内容にしたがって、記録を提出してください

4. 2024年冬期U19強化合宿

- (1) 上述の「2023年度高体連ボート専門部通信制エルゴ大会要項」に記載の通り、選手を選考し、2023年12月・2024年1月ならびに2月に強化合宿を行う予定です。（2023年12月の強化合宿は実施済み）
また、合宿期間中のパフォーマンスにより強化委員会が総合的に判断し、継続した合宿参加の可否を決定します。
- (2) 「高体連ボート専門部通信制エルゴ大会の11月・2月データ」が未提出であっても、「U19・U23 Tall Talent Program に則して有望と認めた選手」で、強化委員会が認めたものは、強化委員会の推薦により、合宿の参加を認める場合があります。

5. 2024年U19SBS（上記2.(2)）

- (1) 日程：2024年4月25日（木）～4月27日（土）
- (2) 場所：埼玉県戸田市戸田ボートコース
- (3) 参加資格：2023年11月および2024年2月の20分エルゴ（高体連ボート専門部通信制エルゴ）のどちらか一方を提出した選手で、かつ、以下の①②の条件をいずれも満たす選手。
 - ① 2023年11月あるいは2024年2月の20分エルゴメーターのどちらか一方でも「男子5400m以上」、「女子4800m以上」の選手。
 - ② 2024年2月の20分エルゴの集計・結果発表後、上記①の条件内でU19SBSへの予備申込を実施し、予備申込をした選手の中で、男女それぞれ20分エルゴデータの上位から「最大50人」を、U19SBS参加選手とします。
- (4) レース形式
 - ① タイムトライアル（以下「TT」）

1日目午前に2000m TTを1回実施し、そのTTタイムでランキングを作成します。TTランキングに基づき、②の本戦レースに進みます。
 - ② 本戦レース

TTにより分けられたグループにより、「予選（1日目午後）」「準決勝A～Dならびに決勝E～J（2日目午前）」「決勝A～D（3日目午前）」の2000mレースを行います。
なお、「プログレッション」ならびに「競漕日程」の詳細は、2024年U19 Small Boat Selection 要項にて発表いたします。

(5) 選考方法

U19SBS 本戦レースの順位により U19 ナショナルチームメンバーを決定します。選考人数は、それぞれのゴールタイムを%IDT に変換し、そのランキングを用いて決定します。

選考人数は、強化委員会が目標と照らし合わせ総合的に判断します。

6. 2024年4月以降の合宿および国際大会における評価レースと最終決定スケジュール (上記2.(3))

U19 ローイング世界選手権への派遣クルーは U19 SBS 本戦レースの結果を踏まえて編成し（種目の選定を含む）、その後、最速クルー編成のために 2024 年 4 月以降の合宿で評価を行います。早期に十分な評価が完了した場合は、その時点で U19 ローイング世界選手権日本代表選手・クルーを決定する可能性があります。2024 年 4 月以降の評価レースのスケジュールは確定次第、追って発表いたします。

7. 2024 年アジアローイングジュニア選手権日本代表選手選考

アジアローイングジュニア選手権日本代表選手は、U19 SBS 本戦レースの結果から、男女それぞれ最大 7 名を選考します。

8. その他

(1) 疾病や吊事等やむを得ない事由への対応について

U19 ナショナルチーム選考プロセスや、合宿で高いパフォーマンスを示したと強化委員会が認めた選手が、疾病、吊事等やむを得ない事由により U19SBS や評価レースに出漕できなかった場合には、強化委員会の判断により、次のステップに進める可能性があります。

(強化委員会の要請により、診断書等の当該事由を証明する書面の提出が必要となる場合があります。)

(2) 心電図検査結果の提出について

World Rowing の競漕規則に従い、U19SBS 参加選手は、心電図検査結果の提出が必要になります。なお、所定の期間以内（23 歳未満は 3 年以内、23 歳以上は 5 年以内）に心電図結果を提出したことのある選手はその提出が免除されます。

(3) IDT について

2023年シーズンのIdeal Time (IDT) は、2022年11月24 (金) 発表の「2024 Ideal Times Table (After TOKYO2020)」となります。

→[https://www.jara.or.jp/kyoka/current/IDT%202024\(AfterTOKYO2020\).pdf](https://www.jara.or.jp/kyoka/current/IDT%202024(AfterTOKYO2020).pdf)

以上